



日野川水系大規模氾濫時のタイムライン検討会（準備会）を開催しました

日野川河川事務所

平成29年8月7日(月)

平成29年8月4日（金）、鳥取県西部総合事務所（講堂）において、日野川水系大規模氾濫時のタイムライン検討会を開催しました。

タイムラインとは、住民の命を守る、さらに経済被害を最少化することを目的に「いつ」「何を」「誰が」の3つの要素を防災に係る組織が連携し、災害に対するそれぞれの役割や対応行動を定めたものです。

河川の氾濫等災害時の行動は、河川管理者の情報提供や自治体の行政対応のみではなく、多くの防災関連機関等との連携が必要になるため、タイムライン検討会で、関係者が防災の行動について検討を行っていきます。

今回は第1回目ということで、準備会として、今後、検討・討議を行っていく参加者の自己紹介、設置要綱の承認の外、タイムラインや日野川概要、近年の気象等検討の基本となる内容について確認を行いました。

国土交通省、気象台、鳥取県、米子市、伯耆町、南部町、日吉津村等行政機関をはじめ、福祉施設事業者、交通事業者、NTT、米子ガス、水道、中国電力、報道事業者、約60名が参加し、鳥取大学地域安全工学センターの黒岩教授を座長として、平成29年度末を目途に行動計画（タイムライン）策定を行うこととしています。

災害対応のスケジュール表“タイムライン”

○タイムラインとは、災害が発生することを前提として、関係者が事前にとるべき行動を「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して時系列で整理したもの。

		国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風発生 台風上陸の可能性	台風上陸 3日前	○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制の 早期構築	運行停止の可能性を 早めに周知	広域避難の可能性を 早めに周知
災害発生 の危険性	台風上陸 1日前	○連絡体制等の確認 ○協力機関の体制確認	○交通サービス 運行停止予告	○広域避難体制の 確認・周知	○防災用品の準備
台風接近	台風上陸 12時間前	○台風に関する記者会見 (特別警報発表の可能性) ○大雨・洪水等警報 ○はん濫警戒情報	○リエソンの派遣	○運行停止手順の 確認・公表	○広域避難勧告・指示 ○広域避難者の誘導・ 受入
台風上陸	0時間前	○所管施設の巡視	○市町村長へ事態切迫 状況の伝達	○運行停止 ○施設保全・待避終了	○早期に 広域避難を開始
		○はん濫発生情報	○TEC-FORCE活動 (道路啓開等) ○被害状況の把握 ○緊急輸送路の確保	○被害状況の把握 ○施設点検 ○運行見通しの 公表	○避難勧告・指示 ○屋内安全確保
				○早期復旧・再開が可能 となるように運行停止	○台風上陸前に 避難を完了



検討会の様子



鳥取大学 黒岩教授
(座長) 挨拶